

スクロール冷凍機

No. 09



新規・
リニューアル

分野

店舗

お客様名

株式会社セブン-イレブン・ジャパン様

セブン-イレブン・ジャパン様店舗の 冷蔵ショーケースシステムの熱源機に 新冷媒R448Aスクロール冷凍機が標準設備として採用。 全国約2万店舗での活躍が期待。

2018年10月より、株式会社セブン-イレブン・ジャパン様にて、コンビニエンスストア店舗の冷蔵ショーケースシステムの熱源機として、新冷媒R448Aスクロール冷凍機をご採用いただきました。

本冷凍機は、最新技術のテストを行う『ひとと環境にやさしい店舗』にて2017年11月より実証実験を重ね、2018年10月以降に開店する全国の新店舗および改装店舗において標準設備としてご採用いただくものです。

この冷凍機の冷媒には、不燃性^{※1}であり、かつ地球温暖化係数^{※2}が1,387と、従来冷媒であるR404A^{※3}の3,920と比べ約64%、R410A^{※3}の2,090と比べても約33%低減した新冷媒R448Aを採用し、フロン排出抑制法に基づく環境影響度の目標達成度「A」^{※4}を達成しています。

また、株式会社セブン-イレブン・ジャパン様の1年以上にわたるフィールド試験において、年間を通じた稼働データにより、既存のR404A冷媒を用いた冷蔵システムとの比較^{※5}では約20%の省エネ化を評価いただきました。

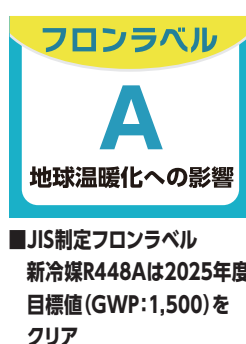
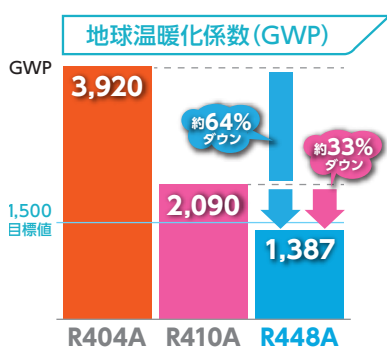
R448Aスクロール冷凍機を熱源機とする冷蔵システムは、今後、全国にあるコンビニエンスストア店舗での活躍が期待されています。

取材・撮影／2018年11月

*取材時の弊社の社名 日立アプライアンス株式会社



- ※1 ASHRAE 規格34の冷媒安全性分類で、冷媒R448AはA1に分類されます。
- ※2 地球温暖化に与える影響を数値化したものを示します。数値が大きいくほど温暖化への影響が大きいくことを示します。
- ※3 出典「IPCC第4次評価報告書」地球温暖化係数(GWP)100年値。
- ※4 フロン排出抑制法に製品ごとに定められたフロン類からの転換目標値を達成したものを「A」とし、転換目標値に対する達成度合いに応じて多段階で表示する記号。
- ※5 冷蔵ショーケースシステム1台当たりの計算値。



提案・採用のポイント

POINT 1

地球温暖化係数の低い
新冷媒R448A(GWP値:1,387)

POINT 2

高い省エネ性

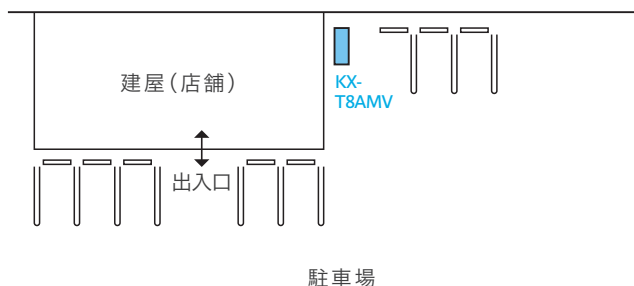
導入内容は裏面へ

据付け状況



- 1 セブン-イレブンさいたま笹久保新田店様。建屋の側面に冷凍機が設置されている。
- 2 24時間営業のため、排熱や夜間の運転音に配慮し、冷凍機は駐車場に面して設置されている。

配置図面(イメージ図)



納入製品

R448A

屋外設置型(空冷一体型)
DCインバーターシングルタイプ[冷蔵用]
スクロール冷凍機 KX-T8AMV



KX-T8AMV

DATA

納入先：株式会社セブン-イレブン・ジャパン様
納入年月：2018年10月

東京都千代田区にあるセブン-イレブン・ジャパン様本社入居ビル内に、最新技術のテストを行う『ひとと環境にやさしい店舗』として、セブン-イレブン千代田二番町店様を開店。

日本国内で2万店(2018年8月末時点)を超えるコンビニエンスストア店舗への本格導入を図るため、様々な最新技術の実証実験とブラッシュアップを実施している。

*掲載製品の製造元は日立ジョンソンコントロールズ空調株式会社です。
*掲載内容については取材時のものであり、現在と異なる場合があります。